

第 23 回 GIS 学会学術大会
GISCA 特別セッション

GIS 事業分野の担い手として、GIS 上級技術者（GISE）資格が注目されつつあるが、当分野の更なる発展を期するためには、個々の経験に基づく知見や新たに開発した技術を共有し、議論する場が欠かせない。また、GISE 資格の有効期限は 5 年間であり、その間に、GIS 分野に対して一定の貢献をすることが義務付けられている。このような背景のもと、本セッションは、資格をもつ発表者には貢献の機会を与え、参加者には教育の機会を与えることを通じて、相互研鑽することを目的に、開催するものである。また、GISE 資格の取得を目指す人々や興味をもつ人々の参加も歓迎したい。

日時：11 月 8 日（土） 9:00～12:30

場所：会場 A

オーガナイザー：大伴 真吾

プログラム

公募セッション 司会：竹本 孝

9:00～9:15 ビジネス分野に求む上級技術者 ―資格認定制度の現状と課題―

平下 治

現在 400 名を超える GIS 上級技術者が誕生しているが民間企業のマーケティングを専門とする認定者が極めて少ない。現状、民間企業でマーケティングに GIS を活用することはほぼ日常的な事である。例えば、流通業の POS データのようなビッグデータを地理的に分析する時に GIS が不可欠なツールとされている。GIS と言えば大学教育でもそのほとんどが理系の学部であった。しかし、最近では商学部や経済学部、あるいは経営、観光といった文化系の学部にも GIS を活用することが多くなっている。資格認定協会こうした流れを鑑みてもっと文系に目を向けてほしいと願うところである。

9:15～9:30 今後の GIS における画像利用について

大橋 真

従来、極めて一部の GIS ユーザしか航空写真や衛星画像を利用していなかった。その原因としては画像入手の価格や煩雑さ、画像処理技術の難解さ等が挙げられる。現在は ICT 技術の進展とユーザ層がプロからカジュアルなユーザと裾野が広がってきたために大きく様相が変わってきている。本発表では、画像を取り巻く最新動向とその GIS への適用性について考察を加え、将来あるべき画像を用いた GIS の姿とその有用性、課題について論ずる。

9:30～9:45 地理空間情報県域共同化事業の“これまで”と“これから”

伊藤 裕

三重県では、平成 20 年度に県及び市町が共同整備したデジタル地図を県内の情報基盤

として位置づけ、県域レベルでその積極的な活用を図ることにより、「コスト縮減」、「行政事務の効率化」、「県市町の情報共有」、「住民サービスの向上」の実現を目指している。本発表では、三重県の共同化事業を通じて得られた、地理空間情報の県域共同化における知見・展望とともに、今後、我々GIS 上級技術者に求められるスキル等について発表する。

9:45～10:00 三重県における地理空間情報を利用した広域災害対策 ～クラウド型 GIS「地理空間情報集約システム」を利用した取り組み～

工藤 大典

近年、広域での防災対策が求められている。防災対策では高精度な地形図が不可欠だが、三重県では県と市町が共同で県下全域の高精度基盤「三重県共有デジタル地図」を整備している。本発表では、共有 DM をベースとし、県、市町が県下全域をシームレスに情報共有可能なクラウド型 GIS「地理空間情報集約システム」を利用して、平常時の防災情報、発災時の被災情報管理を実現する取り組み、及び広域災害における地理空間情報の利活用性向上の可能性を紹介する。

10:00～10:15 オープンソース GIS の解析機能を応用した浸水警報システム構築の試み

中谷 剛

GIS の一般的な利用方法は、地物の性質（属性・操作・役割）や継承関係などの表示ですが、地物の性質等を利用した解析機能は年々整備され高度になって来ています。本研究では、これらの充実してきた解析機能に着目して、雨量データから流出解析により浸水リスクを予測して警報を出すシステムを、GIS で構築する試みについて紹介します。雨量データには XRAIN を、流出解析には合理式を利用しています。

10:15～10:30 国際協力事業における地理空間情報の利活用促進

五島 直樹

近年、開発途上国における持続的な経済成長のためのインフラ整備の一貫として地理空間情報の整備・更新が必要とされている。そのような背景の中、広域な地域計画策定に必要な情報基盤の構築のために中縮尺デジタル地形図の整備業務を実施してきている。ここでは、整備された地理空間情報の利活用促進を目的として、政府関係者のみならず広く一般に向けたインターネットによる情報公開のために WebGIS の技術を利用した Web サイト構築の取り組みについて紹介する。また、これらの経験を踏まえ、これからの GIS 技術者のあるべき姿について私見を述べる。

10:15～10:40 質疑応答

パネルディスカッション

10:50～12:30 テーマ：これからの GIS 技術者に求められる技術
モデレータ：太田守重
パネラー：田中一成、大伴真吾、浅野和仁、平下治

1. 話題提供

欧米における地理情報分野の最近の動向 太田守重

2. パネラーからのコメント

3. フロアを交えた自由討議